

患者として医療者とどうつきあうか

— 33年間の透析患者としての体験から —

日時：2009年12月17日(木) 18:00～19:00

講演 18:00～／交流会 18:30～

場所：新潟県立看護大学 第2ホール

上越市新南町240番地（県立中央病院となり）



新潟県立看護大学 教授

杉田 収（すぎた おさむ）

酵素、抗酸化能(活性酸素)、化学物質過敏症(住環境)をテーマに研究に取り組み、教育においては化学、臨床生化学、病態治療学などを担当。また、新潟市の信楽園病院にて1976年より血液透析を開始。現在まで33年間血液透析を継続している。

※ 参加費無料

申し込み・問い合わせ

新潟県立看護大学
教務学生課

TEL 025-526-2811

FAX 025-526-2815

(担当:細谷)

当日参加もお待ちしております。



高田駅前案内所または本町4丁目から「中央病院行きバス」または「上牧・宇津の俣行きバス」に乗車、看護大学下車(所要時間13分)

主催：新潟県立看護大学
看護研究交流センター 地域貢献部会